

# MRIによるアルツハイマー病の 早期診断プログラム開発における 病理学的検証実験

2026年  
2月6日[金]  
10:00 ▶ 11:30



**場所** ※対面での開催です  
保健科学研究院B棟1F小会議室

**対象** 研究者、大学院生

※事前申込みは不要です。  
当日会場へお越しください。

## 舘脇 康子先生

東北大学 加齢医学研究所  
脳科学研究部門 臨床加齢医学研究分野 講師

アルツハイマー病（AD）の病態修飾療法の普及に伴い、臨床現場では早期段階でのアミロイド $\beta$ （A $\beta$ ）の病理学的情報に基づく診断支援が重要となっています。しかし現状のA $\beta$ 評価は、アミロイドPETや髄液検査など限られた手段に依存しており、侵襲性・費用・実施施設の偏在に起因するアクセス格差や検査キャパシティの制約が課題です。本講演では、この状況のブレークスルーとなりうる、MRI画像からA $\beta$ 病理を非侵襲的に推定する早期診断プログラムの開発状況を概説し、その学術的妥当性を担保するための病理学的検証実験の設計思想と展望を報告します。